

2023年3月14日
株式会社日本政策金融公庫**令和4年農業景況DIは、調査開始以来の最低値**

～ 生産コスト高響く、令和5年も引き続き厳しい見通し ～

< 農業景況調査（令和5年1月調査） >

日本政策金融公庫（略称：日本公庫）農林水産事業は、融資先の担い手農業者を対象に「農業景況調査（令和5年1月調査）」を実施しました。

今回調査では、定例の景況調査のほか、今後の経営方針について調査しました。

調査結果のポイントは以下のとおりです。

< 農業景況 >

- 令和4年の農業景況 DI（▲39.1）は、前年実績から9.5ポイント低下し、平成8年の調査開始以来の最低値となりました。また業種別では全ての業種でマイナス値となり、特に酪農が▲80.0以下と最も低くなりました。
- 令和5年の農業景況 DI の見通し（▲31.8）は、令和4年実績から7.3ポイント上昇し、マイナス幅が縮小するも、依然としてマイナス値が続く見込みとなりました。
- 令和4年の生産コスト DI（▲88.3）は、前年実績から20.2ポイント低下しました。また業種別では全業種で▲80.0以下の大幅なマイナス値となり、農業景況 DI と同様に平成8年の調査開始以来の最低値となりました。
- 「設備投資予定あり」の比率（45.0%）は、前年から1.3ポイント低下しています。業種別では稲作（都府県）が最も高く、5割を超える一方で、酪農（北海道）及び酪農（都府県）、ブロイラーは前年から低下し、3割程度となりました。

< 今後の経営方針について >

- 優先度が高い上位3つの今後の経営方針は、耕種では「効率化への設備増強」（47.5%）が最も高く、次いで「生産規模の拡大」（40.1%）、「人材確保、育成の強化」（33.7%）の順となり、畜産では「効率化への設備増強」（42.4%）が最も高く、次いで「現状維持」（40.6%）、「人材確保、育成の強化」（35.9%）の順となりました。
- 業種別では施設野菜、施設花き、きのこで「人材確保、育成の強化」が最も高くなった一方で、茶や酪農、肉用牛では「現状維持」とする割合が最も高くなりました。

■詳細は、添付のレポートをご参照ください。

農業景況調査（令和5年1月）

～農業の景況、今後の経営方針について～

～目次～

I .農業の景況.....	P3～9
II .今後の経営方針について.....	P10～12

○調査概要

- 調査時期: 令和5年1月
- 調査方法: 往復はがきによる郵送アンケート及びインターネット併用調査
- 調査対象: スーパーL資金又は農業改良資金のご融資先のうち23,305先
- 有効回答数: 7,424先(回収率31.9%)

(内訳)

稲作(北海道): 677、稲作(都府県): 1,859、畑作: 627、露地野菜: 771
施設野菜: 675、茶: 122、果樹: 395、施設花き: 188、きのこ: 82、
酪農(北海道): 307、酪農(都府県): 316、肉用牛: 546、養豚: 241、
採卵鶏: 124、ブロイラー: 95、その他: 399

<お問い合わせ先>

日本政策金融公庫 農林水産事業本部 情報企画部(担当: 高田、米山) TEL: 03-3270-5585
〒100-0004 東京都千代田区大手町1-9-4 大手町フィナンシャルシティ ノースタワー

I. 農業の景況(景況DI、収支DI)

- ・令和4年の農業景況DI(▲29.6→▲39.1)は前年から9.5ポイント低下し、平成8年の調査開始以来の最低値となった。また業種別では全ての業種でマイナス値となり、特に酪農が▲80.0以下と最も低くなった。
- ・令和5年見通し(▲39.1→▲31.8)は令和4年実績から7.3ポイント上昇し、マイナス幅が縮小する見込み。
- ・収支DI(▲35.1→▲43.1)は前年から8.0ポイント低下し、すべての業種でマイナス値となっている。

1. 景況DI

	24年 実績	25年 実績	26年 実績	27年 実績	28年 実績	29年 実績	30年 実績	R1年 実績	R2年 実績	R3年 実績	R4年 実績	R5年 通年見通し
農業全体	13.2	▲1.4	▲33.7	16.8	20.0	21.2	▲11.1	6.0	▲24.9	▲29.6	▲39.1	▲31.8
稲作(北海道)	43.9	▲4.2	▲67.2	20.1	▲4.9	39.7	▲51.8	26.5	▲3.6	▲55.2	▲44.3	▲55.9
稲作(都府県)	36.2	▲10.2	▲71.0	▲3.8	23.6	10.3	▲10.7	11.4	▲33.4	▲55.9	▲39.5	▲29.5
畑作	1.6	▲27.6	▲5.3	35.2	▲17.6	34.8	▲22.7	31.6	▲32.3	0.2	▲31.8	▲56.7
露地野菜	6.7	▲15.1	▲15.7	14.3	14.7	7.5	▲3.4	▲9.3	▲32.8	▲21.4	▲15.5	▲26.2
施設野菜	19.9	15.6	▲8.4	20.3	26.3	15.0	▲1.4	▲22.4	▲28.1	▲32.3	▲28.8	▲11.4
茶	▲12.8	▲44.8	▲55.0	▲53.1	11.1	26.5	▲14.5	▲53.1	▲78.0	▲0.9	▲15.5	▲14.0
果樹	16.0	6.3	▲12.7	11.5	25.6	21.8	20.6	7.5	▲16.8	11.9	▲7.7	5.1
施設花き	▲8.0	▲2.8	▲34.4	▲5.9	11.8	▲10.6	▲13.7	▲20.2	▲40.2	5.8	▲3.2	▲10.7
きのこ	▲19.6	4.7	▲20.7	15.2	1.1	▲2.5	▲21.0	▲23.2	3.0	▲40.8	▲59.8	▲10.9
酪農(北海道)	▲2.2	▲9.4	▲4.1	55.9	57.6	44.8	25.0	30.3	▲19.3	▲32.8	▲87.7	▲67.4
酪農(都府県)	0.0	▲23.8	▲30.9	29.3	52.2	12.6	2.5	8.4	▲16.4	▲39.5	▲84.8	▲36.8
肉用牛	8.3	20.5	▲1.2	48.5	50.3	17.5	4.7	▲0.2	▲43.9	▲3.1	▲62.0	▲37.7
養豚	▲38.1	43.6	67.5	48.8	26.2	59.4	▲27.2	▲4.1	44.3	▲36.4	▲74.2	▲50.9
採卵鶏	▲40.6	43.9	28.6	71.0	40.8	32.7	▲61.2	▲38.9	▲43.8	22.6	▲65.4	▲5.6
ブロイラー	▲1.3	▲22.4	10.4	51.9	27.4	55.3	15.9	14.7	6.4	▲2.1	▲41.1	▲42.1

※景況DIは農業経営が「良くなった・良くなる」とする構成比から「悪くなった・悪くなる」とする構成比を差し引いたもの

2. 収支DI

	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	R1年	R2年	R3年	R4年
農業全体	12.5	▲7.0	▲39.7	14.2	16.7	14.7	▲20.1	▲1.5	▲27.6	▲35.1	▲43.1
稲作(北海道)	44.7	▲14.4	▲72.4	21.3	▲13.7	43.0	▲63.3	17.9	▲1.8	▲57.6	▲50.3
稲作(都府県)	37.8	▲22.0	▲76.7	▲6.5	23.8	2.2	▲18.8	4.5	▲38.5	▲60.5	▲43.5
畑作	▲1.4	▲35.8	▲13.8	33.9	▲24.7	28.1	▲27.5	29.0	▲37.4	▲3.0	▲36.5
露地野菜	0.7	8.9	▲23.6	5.7	13.1	▲0.9	▲14.8	▲18.4	▲36.9	▲27.3	▲19.8
施設野菜	16.7	9.3	▲19.5	15.3	20.3	5.6	▲11.8	▲27.2	▲29.2	▲39.3	▲34.6
茶	▲11.9	▲43.8	▲59.0	▲52.4	8.1	25.8	▲16.1	▲54.0	▲76.3	▲5.4	▲22.1
果樹	14.2	0.9	▲20.3	6.3	19.3	12.0	7.4	▲4.9	▲25.3	4.9	▲13.2
施設花き	▲9.7	▲8.5	▲39.2	▲8.1	9.1	▲24.6	▲22.0	▲22.3	▲38.2	7.3	▲11.2
きのこ	▲13.7	7.0	▲17.1	11.4	▲1.0	▲3.8	▲24.7	▲30.5	4.4	▲46.3	▲57.3
酪農(北海道)	▲3.4	▲10.5	▲12.6	55.5	57.0	36.8	7.4	17.6	▲24.3	▲45.9	▲86.3
酪農(都府県)	▲2.6	▲25.4	▲34.3	25.4	48.4	1.7	▲3.3	▲3.6	▲14.5	▲45.9	▲86.7
肉用牛	9.9	20.2	▲7.6	50.8	48.6	7.0	▲4.1	▲7.3	▲48.4	▲12.3	▲64.4
養豚	▲38.1	44.9	69.9	50.2	19.1	57.9	▲34.9	▲7.8	47.0	▲43.1	▲66.0
採卵鶏	▲45.6	56.7	31.3	63.0	44.8	31.9	▲62.8	▲46.0	▲40.6	14.7	▲68.3
ブロイラー	1.3	▲22.4	6.0	42.3	29.1	55.3	4.3	5.4	8.9	▲5.2	▲44.2

※収支DIは収支実績が「良くなった」とする構成比から「悪くなった」とする構成比を差し引いたもの

I. 農業の景況(資金繰りDI、販売単価DI)

- ・資金繰りDI (▲24.7→▲37.2)は前年実績から12.5ポイント低下した。
- ・業種別では酪農(北海道)(▲30.3→▲75.6)、酪農(都府県)(▲41.9→▲80.6)、肉用牛(▲8.4→▲55.4)、採卵鶏(15.6→▲47.5)で特に大幅に低下した。
- ・販売単価DI(▲42.6→▲6.4)は前年から36.2ポイント上昇したものの、依然としてマイナス値となっている。

3. 資金繰りDI

	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	R1年	R2年	R3年	R4年
農業全体	9.8	▲ 0.9	▲ 29.2	7.6	15.5	15.5	▲ 4.7	0.4	▲ 16.3	▲ 24.7	▲ 37.2
稲作(北海道)	31.8	▲ 0.7	▲ 52.4	8.2	▲ 2.5	23.8	▲ 30.4	7.9	▲ 1.5	▲ 40.4	▲ 40.4
稲作(都府県)	29.2	▲ 6.7	▲ 59.2	▲ 10.7	13.5	7.3	▲ 5.9	4.9	▲ 22.0	▲ 41.6	▲ 34.6
畑作	2.4	▲ 17.0	▲ 10.4	19.9	▲ 3.3	23.3	▲ 5.3	14.7	▲ 15.4	▲ 3.7	▲ 26.6
露地野菜	2.7	7.2	▲ 14.2	2.3	14.2	2.7	▲ 6.4	▲ 13.5	▲ 27.6	▲ 21.3	▲ 22.6
施設野菜	12.7	8.1	▲ 10.6	16.0	19.8	11.5	0.8	▲ 19.3	▲ 25.2	▲ 31.0	▲ 33.7
茶	▲ 16.4	▲ 32.5	▲ 43.7	▲ 41.3	4.3	20.2	▲ 8.0	▲ 40.5	▲ 48.3	▲ 5.3	▲ 27.8
果樹	7.2	1.4	▲ 14.8	1.4	14.7	8.6	8.9	2.0	▲ 11.8	4.2	▲ 13.5
施設花き	▲ 14.7	▲ 9.8	▲ 34.4	▲ 6.8	7.3	▲ 5.9	▲ 6.9	▲ 15.2	▲ 32.9	7.3	▲ 18.6
きのこ	▲ 23.5	0.0	▲ 29.3	10.1	1.0	7.5	▲ 24.7	▲ 29.0	▲ 6.0	▲ 24.7	▲ 64.6
酪農(北海道)	▲ 3.1	▲ 5.0	▲ 6.3	39.2	45.7	36.3	21.1	24.9	▲ 12.0	▲ 30.3	▲ 75.6
酪農(都府県)	1.8	▲ 14.4	▲ 26.2	26.5	42.1	16.4	5.4	1.6	▲ 6.7	▲ 41.9	▲ 80.6
肉用牛	8.1	9.7	▲ 6.1	27.8	34.6	16.9	8.7	0.7	▲ 25.6	▲ 8.4	▲ 55.4
養豚	▲ 26.8	37.1	59.3	45.0	32.4	55.6	▲ 7.1	2.3	37.7	▲ 24.5	▲ 61.4
採卵鶏	▲ 24.4	39.0	26.8	56.0	44.8	31.1	▲ 30.2	▲ 28.6	▲ 32.3	15.6	▲ 47.5
プロイラー	18.4	▲ 16.4	3.0	38.5	29.1	50.0	27.6	17.4	5.0	1.1	▲ 30.5

※資金繰りDIは資金繰りが「楽になった」とする構成比から「厳しくなった(苦しくなった)」とする構成比を差し引いたもの

4. 販売単価DI

	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	R1年	R2年	R3年	R4年
農業全体	4.5	▲ 11.1	▲ 40.0	13.1	26.1	24.3	2.1	▲ 6.9	▲ 42.2	▲ 42.6	▲ 6.4
稲作(北海道)	40.4	▲ 51.9	▲ 88.6	10.1	19.9	54.4	▲ 5.9	▲ 2.4	▲ 48.3	▲ 83.5	▲ 15.7
稲作(都府県)	43.3	▲ 58.7	▲ 88.2	7.0	33.4	36.0	16.9	13.4	▲ 64.9	▲ 83.9	▲ 6.5
畑作	▲ 29.7	▲ 36.2	▲ 30.5	▲ 15.4	▲ 3.5	▲ 2.1	▲ 1.9	▲ 8.6	▲ 57.5	▲ 15.5	▲ 11.2
露地野菜	▲ 19.6	17.0	▲ 33.5	▲ 10.0	16.5	▲ 7.8	0.8	▲ 43.1	▲ 42.2	▲ 29.4	▲ 8.5
施設野菜	0.9	▲ 0.4	▲ 32.8	▲ 0.6	26.0	8.7	▲ 11.6	▲ 31.2	▲ 34.4	▲ 43.1	▲ 5.9
茶	▲ 27.9	▲ 62.1	▲ 64.0	▲ 59.4	▲ 1.3	18.1	▲ 41.1	▲ 63.5	▲ 78.0	▲ 5.3	▲ 16.4
果樹	1.9	▲ 1.4	▲ 25.4	10.9	34.9	28.0	15.0	15.7	3.1	16.5	11.4
施設花き	▲ 27.0	▲ 21.1	▲ 47.0	▲ 15.4	7.3	▲ 28.6	▲ 23.3	▲ 25.3	▲ 48.0	15.2	34.6
きのこ	▲ 42.2	1.2	▲ 22.0	▲ 6.4	▲ 18.2	▲ 11.3	▲ 39.6	▲ 46.4	▲ 4.5	▲ 55.6	0.0
酪農(北海道)	37.4	36.0	59.3	85.9	79.3	67.8	47.6	33.0	▲ 37.8	▲ 53.2	▲ 62.7
酪農(都府県)	▲ 2.1	51.7	23.0	61.7	50.7	14.4	17.6	34.2	▲ 23.7	▲ 36.5	2.9
肉用牛	▲ 4.9	59.0	46.4	85.8	76.4	17.1	20.4	▲ 21.5	▲ 62.6	▲ 4.3	▲ 45.1
養豚	▲ 71.5	70.1	84.1	26.9	▲ 15.1	63.6	▲ 55.0	▲ 24.5	▲ 52.8	▲ 21.8	36.9
採卵鶏	▲ 48.8	82.3	53.6	74.0	▲ 12.0	1.7	▲ 66.7	▲ 53.2	▲ 57.5	32.0	83.9
プロイラー	▲ 47.4	▲ 22.4	10.4	28.8	▲ 9.7	37.5	▲ 11.6	▲ 28.3	5.1	▲ 1.0	15.8

※販売単価DIは生産物の販売価格が「上昇した」とする構成比から「下落した」とする構成比を差し引いたもの

I. 農業の景況(生産コストDI、雇用状況DI)

- ・生産コストDI(▲68.1→▲88.3)は前年実績から20.2ポイント低下した。業種別では、全業種で▲80.0以下の大幅なマイナス値となっており、平成8年の調査開始以来の最低値となっている。
- ・雇用状況DI(▲35.6→▲37.0)は前年から横ばいながら、マイナス値が続き、労働力不足の状況を示している。

5. 生産コストDI

	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	R1年	R2年	R3年	R4年
農業全体	▲ 50.7	▲ 62.9	▲ 66.3	▲ 44.7	▲ 19.1	▲ 25.2	▲ 37.1	▲ 38.8	▲ 36.2	▲ 68.1	▲ 88.3
稲作(北海道)	▲ 49.7	▲ 63.0	▲ 69.0	▲ 44.1	▲ 24.2	▲ 18.8	▲ 36.9	▲ 40.4	▲ 33.7	▲ 67.5	▲ 89.6
稲作(都府県)	▲ 38.3	▲ 43.6	▲ 53.2	▲ 36.5	▲ 11.5	▲ 11.2	▲ 18.2	▲ 19.3	▲ 30.8	▲ 56.3	▲ 82.7
畑作	▲ 55.8	▲ 70.4	▲ 78.2	▲ 63.7	▲ 32.6	▲ 28.4	▲ 38.5	▲ 45.6	▲ 41.5	▲ 63.2	▲ 88.5
露地野菜	▲ 46.9	▲ 65.1	▲ 67.5	▲ 56.8	▲ 28.9	▲ 40.0	▲ 46.3	▲ 53.1	▲ 44.7	▲ 67.9	▲ 90.2
施設野菜	▲ 52.4	▲ 64.5	▲ 63.4	▲ 41.0	▲ 26.5	▲ 39.9	▲ 49.0	▲ 57.6	▲ 46.0	▲ 78.9	▲ 88.7
茶	▲ 48.4	▲ 68.5	▲ 72.5	▲ 30.1	▲ 11.1	▲ 32.2	▲ 46.7	▲ 51.6	▲ 25.4	▲ 71.7	▲ 86.0
果樹	▲ 44.8	▲ 55.8	▲ 67.0	▲ 48.4	▲ 31.3	▲ 37.3	▲ 39.0	▲ 48.1	▲ 40.2	▲ 55.1	▲ 83.2
施設花き	▲ 53.3	▲ 70.7	▲ 72.8	▲ 33.5	▲ 21.9	▲ 48.6	▲ 53.5	▲ 55.7	▲ 40.2	▲ 87.0	▲ 93.1
きのこ	▲ 40.6	▲ 64.0	▲ 74.4	▲ 43.0	▲ 22.4	▲ 28.8	▲ 59.2	▲ 56.6	▲ 44.8	▲ 76.5	▲ 91.5
酪農(北海道)	▲ 68.8	▲ 81.9	▲ 80.4	▲ 46.4	▲ 4.9	▲ 35.2	▲ 48.2	▲ 37.1	▲ 45.4	▲ 81.0	▲ 95.1
酪農(都府県)	▲ 67.5	▲ 83.5	▲ 83.6	▲ 46.6	▲ 0.7	▲ 32.9	▲ 40.4	▲ 46.6	▲ 38.5	▲ 81.4	▲ 95.6
肉用牛	▲ 65.7	▲ 83.1	▲ 81.9	▲ 63.1	▲ 37.3	▲ 41.3	▲ 46.7	▲ 37.4	▲ 30.9	▲ 80.8	▲ 91.7
養豚	▲ 65.9	▲ 69.6	▲ 59.8	▲ 17.7	16.9	12.1	▲ 37.0	▲ 24.7	▲ 19.1	▲ 85.7	▲ 97.5
採卵鶏	▲ 61.9	▲ 79.9	▲ 78.6	▲ 32.0	11.2	▲ 12.0	▲ 49.6	▲ 46.9	▲ 41.7	▲ 83.4	▲ 93.5
ブロイラー	▲ 42.1	▲ 76.1	▲ 59.7	▲ 44.2	▲ 4.8	▲ 16.1	▲ 23.2	▲ 28.0	▲ 20.3	▲ 63.2	▲ 88.4

※生産コストDIは生産の費用(コスト)が「下がった」とする構成比から「上がった(コスト増)」とする構成比を差し引いたもの

6. 雇用状況DI

	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	R1年	R2年	R3年	R4年
農業全体	-	-	-	▲ 26.3	▲ 33.6	▲ 36.8	▲ 34.7	▲ 34.9	▲ 32.0	▲ 35.6	▲ 37.0
稲作(北海道)	-	-	-	▲ 26.7	▲ 35.6	▲ 39.0	▲ 41.2	▲ 36.9	▲ 38.4	▲ 36.4	▲ 40.8
稲作(都府県)	-	-	-	▲ 18.8	▲ 27.3	▲ 27.8	▲ 27.6	▲ 29.5	▲ 28.4	▲ 29.7	▲ 36.0
畑作	-	-	-	▲ 33.6	▲ 40.8	▲ 45.0	▲ 40.9	▲ 42.7	▲ 37.5	▲ 41.2	▲ 41.4
露地野菜	-	-	-	▲ 34.9	▲ 41.5	▲ 43.4	▲ 36.7	▲ 38.2	▲ 36.2	▲ 39.0	▲ 36.8
施設野菜	-	-	-	▲ 24.1	▲ 30.8	▲ 33.0	▲ 30.9	▲ 30.1	▲ 24.9	▲ 34.6	▲ 29.8
茶	-	-	-	▲ 26.6	▲ 30.8	▲ 37.7	▲ 40.7	▲ 39.5	▲ 29.7	▲ 36.3	▲ 36.2
果樹	-	-	-	▲ 25.6	▲ 32.0	▲ 36.8	▲ 36.9	▲ 36.0	▲ 31.6	▲ 37.4	▲ 41.8
施設花き	-	-	-	▲ 26.8	▲ 31.6	▲ 34.4	▲ 31.8	▲ 29.9	▲ 26.7	▲ 41.0	▲ 31.4
きのこ	-	-	-	▲ 26.6	▲ 37.6	▲ 41.2	▲ 42.0	▲ 42.0	▲ 34.9	▲ 49.4	▲ 40.7
酪農(北海道)	-	-	-	▲ 40.4	▲ 45.0	▲ 52.5	▲ 44.1	▲ 38.7	▲ 31.9	▲ 42.1	▲ 39.8
酪農(都府県)	-	-	-	▲ 25.8	▲ 28.0	▲ 27.6	▲ 26.3	▲ 35.3	▲ 27.5	▲ 35.9	▲ 31.7
肉用牛	-	-	-	▲ 24.7	▲ 28.7	▲ 34.3	▲ 32.4	▲ 32.9	▲ 33.2	▲ 31.6	▲ 33.4
養豚	-	-	-	▲ 35.6	▲ 44.5	▲ 44.3	▲ 32.7	▲ 29.8	▲ 26.3	▲ 36.0	▲ 35.3
採卵鶏	-	-	-	▲ 31.0	▲ 43.2	▲ 47.4	▲ 41.1	▲ 38.9	▲ 33.3	▲ 41.8	▲ 47.6
ブロイラー	-	-	-	▲ 15.4	▲ 21.4	▲ 36.4	▲ 25.0	▲ 37.4	▲ 21.8	▲ 34.7	▲ 29.8

※雇用状況DIは雇用状況の実績が「過剰である」とする構成比から「不足である」とする構成比を差し引いたもの

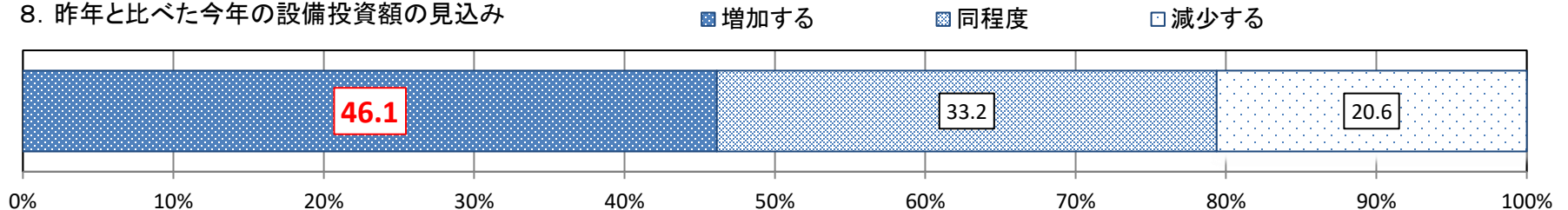
I. 農業の景況(設備投資ありの比率、設備投資額)

- ・「設備投資予定あり」の比率(46.3%→45.0%)は、前年から1.3ポイント低下した。
業種別では稲作(都府県)が最も高く、5割を超える一方で、酪農(北海道)及び酪農(都府県)、ブロイラーは前年から低下し、3割程度となった。
- ・「設備投資予定あり」と回答した先のうち、46.1%が昨年に比べ設備投資額が「増加する」と回答している。

7. 設備投資予定ありの比率

	25年 当初計画	26年 当初計画	27年 当初計画	28年 当初計画	29年 当初計画	30年 当初計画	R1年 当初計画	R2年 当初計画	R3年 当初計画	R4年 当初計画	R5年 当初計画
農業全体	42.0	39.5	34.5	43.6	51.8	46.6	44.3	44.3	46.1	46.3	45.0
稲作(北海道)	48.8	39.7	26.1	44.1	48.6	45.2	41.0	43.2	42.3	41.1	44.0
稲作(都府県)	50.9	46.1	32.5	45.1	53.5	49.8	47.0	49.1	51.2	49.1	51.7
畑作	46.6	37.6	37.2	50.1	54.1	53.2	49.7	53.1	52.7	54.0	49.1
露地野菜	41.3	41.1	34.8	41.9	50.8	44.6	43.8	38.1	43.1	43.2	43.8
施設野菜	36.8	35.8	34.6	38.6	46.3	40.2	38.0	33.3	35.7	38.2	37.8
茶	35.9	32.2	30.3	28.2	45.7	40.5	40.7	31.2	35.1	36.6	40.5
果樹	39.9	33.6	31.7	38.2	45.5	33.5	35.2	34.2	42.4	49.0	49.5
施設花き	29.4	27.7	26.3	28.1	41.1	30.8	28.8	35.4	38.4	45.5	45.2
きのこ	28.7	43.0	36.6	44.9	47.3	43.2	51.9	36.8	50.7	56.8	43.2
酪農(北海道)	32.0	27.8	36.4	42.0	53.7	46.1	44.3	43.7	40.8	38.6	33.2
酪農(都府県)	34.3	35.9	42.8	38.3	58.0	49.4	48.4	42.2	45.1	44.6	32.3
肉用牛	37.8	36.5	41.1	49.9	56.8	46.2	45.1	48.5	42.0	48.6	40.4
養豚	36.2	49.3	55.9	54.4	62.1	58.0	45.5	50.2	54.0	51.2	45.6
採卵鶏	27.8	39.8	46.5	54.0	61.3	61.2	44.2	52.4	56.8	44.7	48.8
ブロイラー	43.4	38.8	47.8	55.8	59.7	51.8	55.1	58.7	49.4	49.0	34.7

8. 昨年と比べた今年の設備投資額の見込み



I. 農業の景況(天気図)

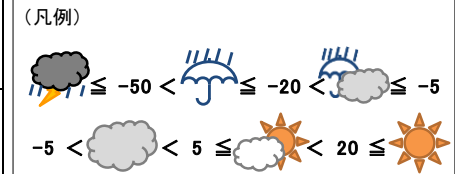
業種	令和3年 実績	令和4年 実績	令和5年 通年見通し	業種	令和3年 実績	令和4年 実績	令和5年 通年見通し
農業全体	29.6	39.1	31.8	施設花き	5.8	3.2	10.7
稲作(北海道)	55.2	44.3	55.9	きのこ	40.8	59.8	10.9
稲作(都府県)	55.9	39.5	29.5	酪農(北海道)	32.8	87.7	67.4
畑作	0.2	31.8	56.7	酪農(都府県)	39.5	84.8	36.8
露地野菜	21.4	15.5	26.2	肉用牛	3.1	62.0	37.7
施設野菜	32.3	28.8	11.4	養豚	36.4	74.2	50.9
茶	0.9	15.5	14.0	採卵鶏	22.6	65.4	5.6
果樹	11.9	7.7	5.1	ブロイラー	2.1	41.1	42.1

調査様式
農業経営の業況は
1:良くなった 2:変わらない 3:悪くなった

今年(令和5年)の経営見通しは
1:良くなる 2:変わらない 3:悪くなる

(注1) DI(Diffusion Index = 動向指数)について
DIは、前年と比較して、「良くなった」の
構成比から「悪くなった」の構成比を
差し引いたもの。

(注2) DI値に2.5以上の差異がある場合は
上向き又は下向き矢印。2.4以内の場合は
平行矢印。

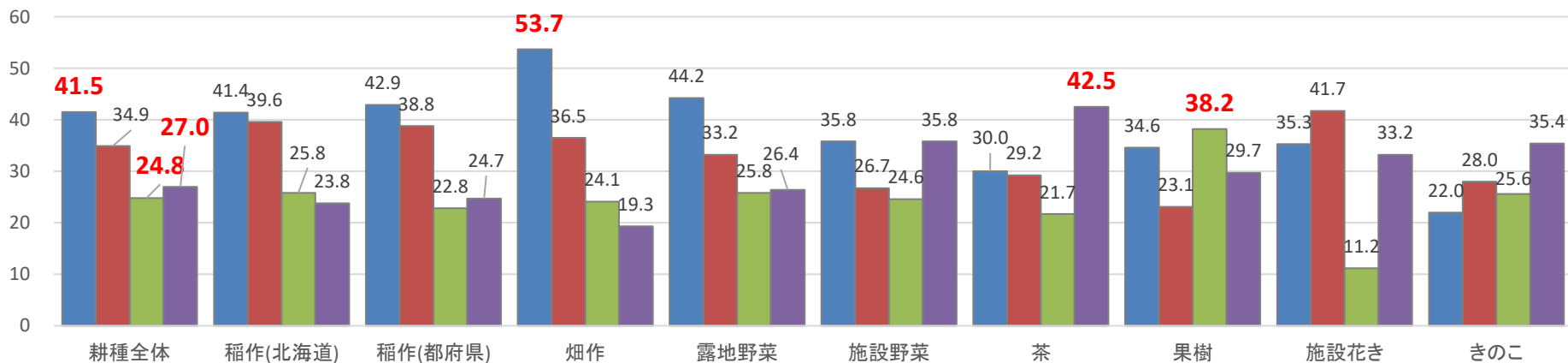


I. 農業の景況(昨年どのような投資を実施したか、業種別・耕種)

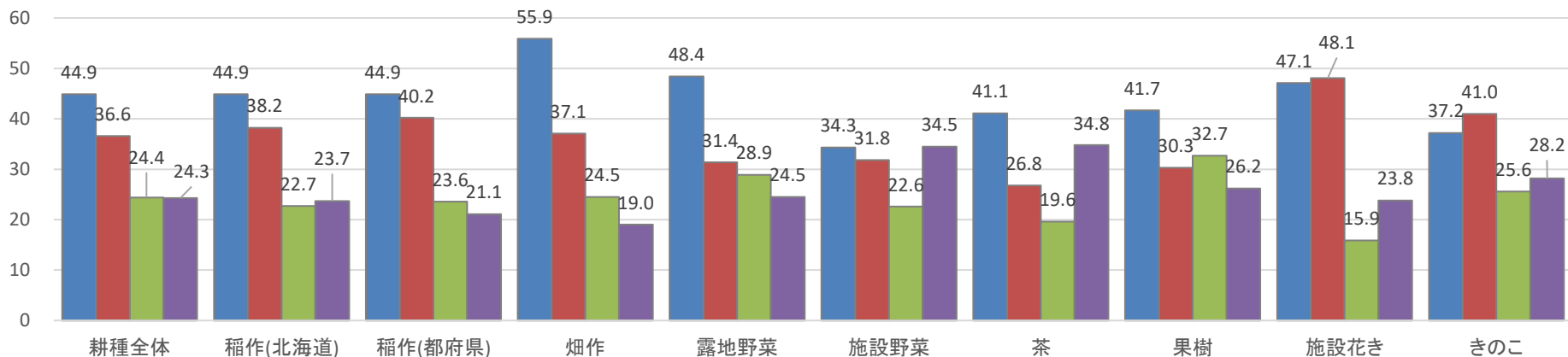
- ・耕種全体では「効率化投資」(41.5%)が最も高く、業種別では特に畑作(53.7%)で高くなった。
- ・「拡大投資」とする回答は耕種全体で24.8%となり、業種別では果樹(38.2%)で高くなった。
- ・「実施していない」(27.0%)とする回答は前回調査(令和4年1月)から2.7%上昇した。また、業種別では茶(42.5%)が最も高くなった。

R05.1調査

■ 効率化投資(能力アップ等) ■ 更新投資(同等のものへの買い替え) ■ 拡大投資(土地・家畜・果樹等含む) ■ 実施していない



R04.1調査(前回調査)

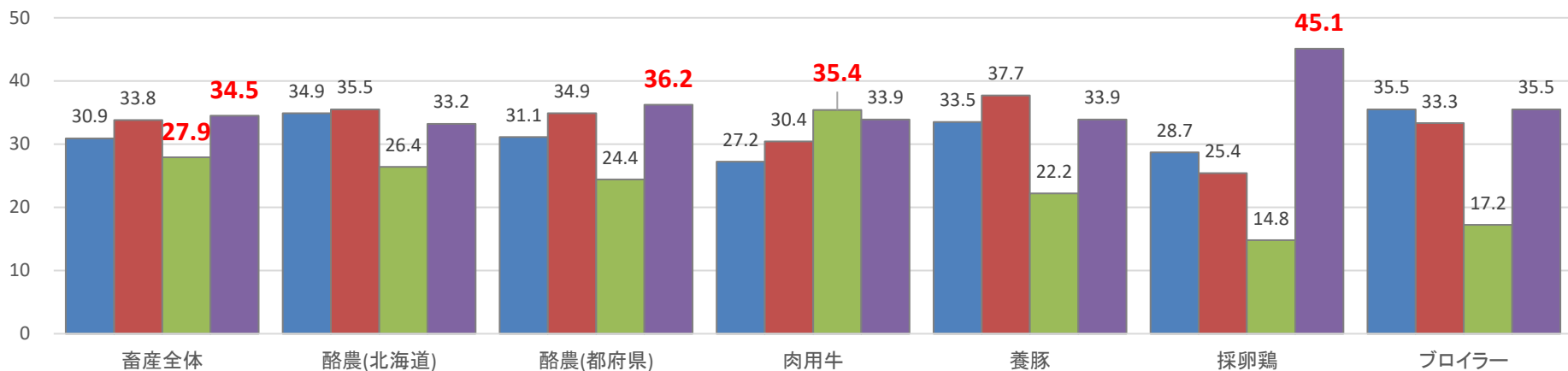


I. 農業の景況(昨年どのような投資を実施したか、業種別・畜産)

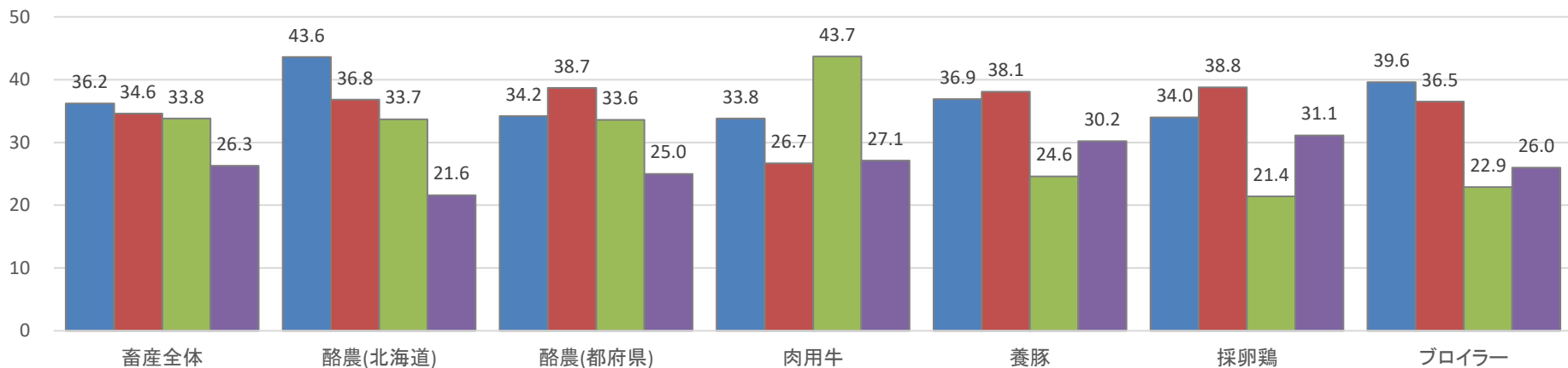
- ・畜産全体では「実施していない」(34.5%)とする回答が前回調査(令和4年1月)から8.2ポイント増加し、最も高くなった。また業種別では採卵鶏(45.1%)、酪農(都府県、36.2%)で特に高くなった。
- ・「拡大投資」(27.9%)とする回答は前回調査(令和4年1月)から5.9%低下した。業種別では肉用牛(35.4%)、で高くなった。

R05.1調査

■ 効率化投資(能力アップ等) ■ 更新投資(同等のものへの買い替え) ■ 拡大投資(土地・家畜・果樹等含む) ■ 実施していない

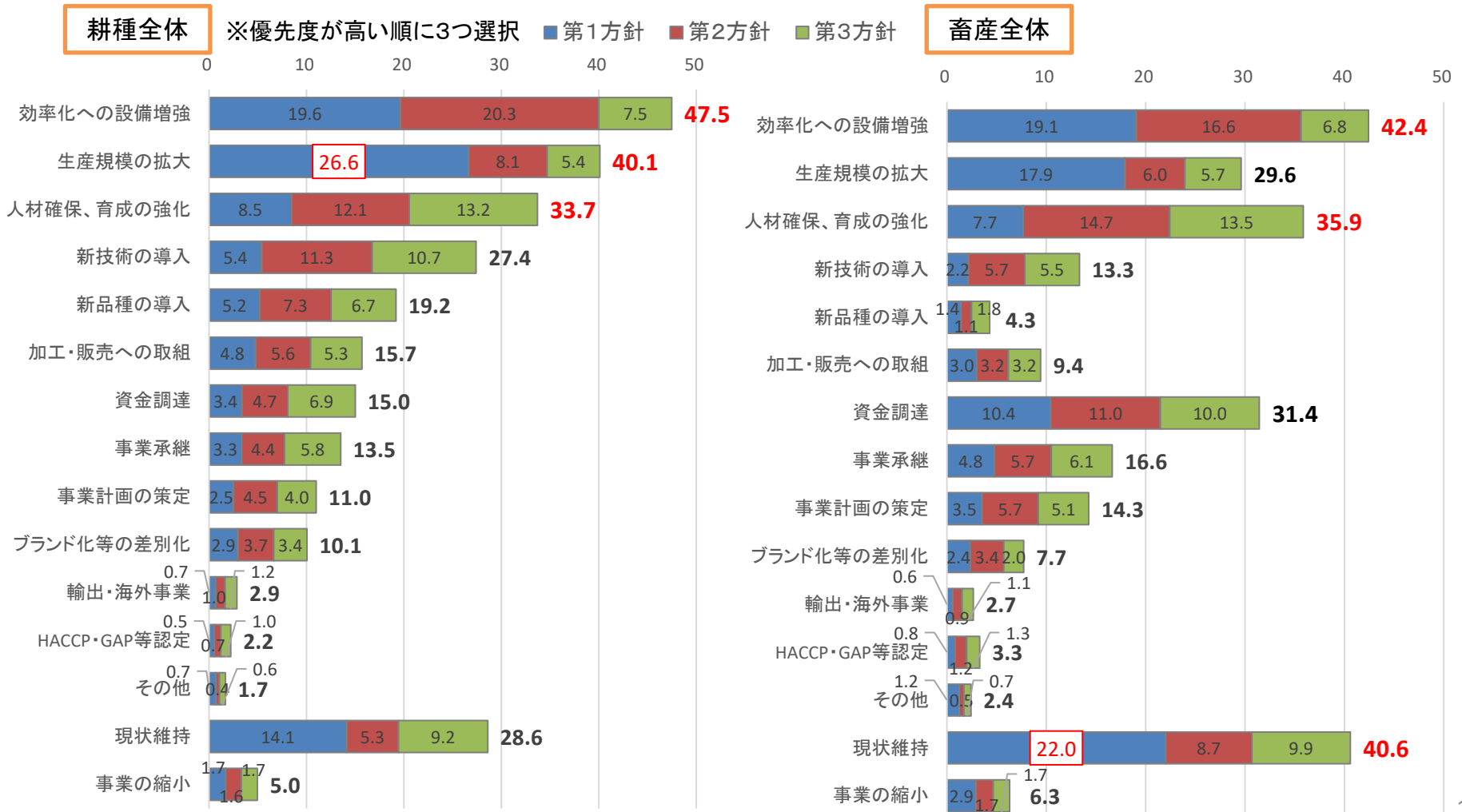


R04.1調査(前回調査)



II. 今後の経営方針について(耕種・畜産別)

- ・最優先する経営方針(第1方針)は耕種で「生産規模の拡大」(26.6%)、畜産で「現状維持」(22.0%)となった。
- ・第1方針から第3方針までの積み上げでは、耕種は「効率化への設備増強」(47.5%)が最も高く、次いで「生産規模の拡大」(40.1%)、「人材確保、育成の強化」(33.7%)の順となり、畜産は「効率化への設備増強」(42.4%)が最も高く、次いで「現状維持」(40.6%)、「人材確保、育成の強化」(35.9%)の順となった。



II. 今後の経営方針について(業種別・耕種)

- ・耕種全体と比較して、稲作(北海道)及び畑作では「新技術の導入」とする回答が多くなった。
- ・施設野菜、施設花き、きのこでは「人材確保、育成の強化」とする回答が最も多くなった。
- ・茶においては「現状維持」とする回答が38.3%と最も高くなった。

※優先度が高い順に3つ選択(各業種、上位3位までを赤字表記)

業種区分	順位	効率化への設備増強	生産規模の拡大	人材確保、育成の強化	新技術の導入	新品種の導入	加工・販売への取組	資金調達	事業承継	事業計画の策定	ブランド化等の差別化	輸出・海外事業	HACCP・GAP等認定	その他	現状維持	事業の縮小
耕種全体	第1方針	19.6	26.6	8.5	5.4	5.2	4.8	3.4	3.3	2.5	2.9	0.7	0.5	0.7	14.1	1.7
	第2方針	20.3	8.1	12.1	11.3	7.3	5.6	4.7	4.4	4.5	3.7	1.0	0.7	0.4	5.3	1.6
	第3方針	7.5	5.4	13.2	10.7	6.7	5.3	6.9	5.8	4.0	3.4	1.2	1.0	0.6	9.2	1.7
	合計	47.5	40.1	33.7	27.4	19.2	15.7	15.0	13.5	11.0	10.1	2.9	2.2	1.7	28.6	5.0
稲作(北海道)	第1方針	16.1	32.1	4.5	8.5	2.8	3.1	4.0	2.2	1.6	1.5	0.6	0.1	0.6	20.5	1.6
	第2方針	23.7	7.9	8.0	17.1	6.4	2.7	4.0	2.8	5.4	1.6	1.0	0.4	0.1	6.7	1.3
	第3方針	7.4	4.2	8.0	14.4	6.3	4.0	7.7	4.2	5.8	2.8	1.6	0.6	0.6	8.9	2.2
	合計	47.2	44.2	20.5	40.0	15.5	9.8	15.8	9.2	12.8	6.0	3.3	1.2	1.3	36.2	5.2
稲作(都府県)	第1方針	20.0	31.8	9.2	4.4	4.0	3.9	3.0	3.5	2.4	2.1	0.5	0.2	0.6	12.9	1.5
	第2方針	22.8	7.7	12.0	11.2	6.6	5.0	4.7	5.6	4.4	2.6	0.7	0.3	0.3	4.7	1.5
	第3方針	6.8	6.2	12.8	10.7	6.2	5.1	7.0	6.5	4.1	2.9	1.1	0.9	0.6	8.3	1.3
	合計	49.7	45.7	34.0	26.4	16.7	14.1	14.8	15.6	10.9	7.6	2.4	1.4	1.5	26.0	4.2
畑作	第1方針	24.3	30.5	4.6	6.5	4.0	2.1	3.2	3.4	3.8	0.2	0.3	0.3	0.6	15.3	0.8
	第2方針	20.9	11.3	7.2	18.2	7.3	4.8	4.6	3.7	5.4	1.9	0.3	0.2	0.3	5.4	0.8
	第3方針	8.9	5.9	9.6	15.7	8.9	4.3	6.5	5.9	3.2	1.4	0.5	0.8	1.0	9.7	1.9
	合計	54.2	47.8	21.4	40.4	20.3	11.2	14.4	12.9	12.5	3.5	1.1	1.3	1.9	30.5	3.5
露地野菜	第1方針	20.0	26.5	8.5	4.7	4.2	5.3	2.9	2.4	3.0	3.4	0.3	1.7	0.7	13.7	2.8
	第2方針	22.2	8.0	15.0	8.1	7.0	6.8	4.6	3.7	4.1	3.4	1.2	1.6	0.4	5.4	1.7
	第3方針	7.1	6.6	15.8	10.6	5.4	4.2	8.8	5.4	5.0	3.9	0.8	1.7	0.5	9.1	1.6
	合計	49.3	41.1	39.3	23.5	16.6	16.3	16.3	11.4	12.1	10.8	2.2	5.0	1.6	28.1	6.0
施設野菜	第1方針	17.7	18.2	10.5	6.3	6.8	7.1	3.6	3.9	2.7	5.3	1.1	0.6	0.9	14.1	1.4
	第2方針	16.1	7.8	15.0	8.1	7.2	7.1	5.7	3.6	3.9	5.6	1.2	1.2	0.9	5.4	1.5
	第3方針	7.4	3.3	15.8	8.3	7.5	8.0	5.7	4.4	3.5	3.3	2.4	1.2	0.6	9.5	1.7
	合計	41.1	29.3	41.3	22.7	21.5	22.1	15.0	11.9	10.1	14.1	4.7	3.0	2.4	29.0	4.5
茶	第1方針	16.7	14.2	8.3	5.0	7.5	10.0	2.5	10.0	0.0	4.2	2.5	1.7	0.8	14.2	2.5
	第2方針	14.2	5.8	15.8	5.8	5.0	6.7	1.7	5.0	5.8	5.8	2.5	2.5	0.0	7.5	2.5
	第3方針	5.8	6.7	8.3	3.3	6.7	6.7	3.3	7.5	2.5	3.3	2.5	1.7	0.8	16.7	1.7
	合計	36.7	26.7	32.5	14.2	19.2	23.3	7.5	22.5	8.3	13.3	7.5	5.8	1.7	38.3	6.7
果樹	第1方針	19.6	18.4	11.7	4.8	10.7	7.9	4.8	3.1	1.5	5.9	1.0	0.5	0.8	7.1	2.0
	第2方針	16.3	8.9	14.3	5.9	10.7	9.7	4.3	4.1	3.3	7.1	2.6	0.8	0.5	3.8	1.5
	第3方針	9.4	4.8	16.6	7.7	6.4	7.7	5.9	6.4	1.8	8.2	1.0	1.3	0.3	8.7	1.3
	合計	45.4	32.1	42.6	18.4	27.8	25.3	15.1	13.5	6.6	21.2	4.6	2.6	1.5	19.6	4.8
施設花き	第1方針	21.9	8.6	11.2	4.8	11.8	4.8	3.2	4.3	1.1	8.6	1.1	0.0	2.1	12.8	3.7
	第2方針	10.2	6.4	10.7	9.1	12.8	1.6	5.3	5.3	5.9	9.6	0.0	0.5	0.0	8.0	5.3
	第3方針	6.4	3.2	16.6	4.8	9.1	2.7	4.8	7.0	4.8	7.5	0.0	0.0	1.1	12.3	2.7
	合計	38.5	18.2	38.5	18.7	33.7	9.1	13.4	16.6	11.8	25.7	1.1	0.5	3.2	33.2	11.8
きのこ	第1方針	20.5	15.4	12.8	1.3	6.4	12.8	9.0	3.8	3.8	5.1	1.3	0.0	0.0	6.4	1.3
	第2方針	11.5	6.4	14.1	9.0	6.4	10.3	9.0	5.1	1.3	14.1	1.3	1.3	0.0	3.8	2.6
	第3方針	10.3	5.1	21.8	3.8	6.4	2.6	6.4	2.6	2.6	2.6	2.6	2.6	0.0	10.3	6.4
	合計	42.3	26.9	48.7	14.1	19.2	25.6	24.4	15.4	7.7	21.8	5.1	3.8	0.0	20.5	10.3

II. 今後の経営方針について(業種別・畜産)

- ・畜産全体と比較して酪農(都府県)では「資金調達」、採卵鶏では「加工・販売への取組」とする回答が多くなった。
- ・酪農及び肉用牛では「現状維持」とする回答が最も高く、特に酪農(北海道)では50%以上となった。
- ・養豚、採卵鶏、ブロイラーでは「効率化への設備増強」が最も高くなった。

※優先度が高い順に3つ選択(各業種、上位3位までを赤字表記)

業種区分	順位	効率化への設備増強	生産規模の拡大	人材確保、育成の強化	新技術の導入	新品種の導入	加工・販売への取組	資金調達	事業承継	事業計画の策定	ブランド化等の差別化	輸出・海外事業	HACCP・GAP等認定	その他	現状維持	事業の縮小
畜産全体	第1方針	19.1	17.9	7.7	2.2	1.4	3.0	10.4	4.8	3.5	2.4	0.6	0.8	1.2	22.0	2.9
	第2方針	16.6	6.0	14.7	5.7	1.1	3.2	11.0	5.7	5.7	3.4	0.9	1.2	0.5	8.7	1.7
	第3方針	6.8	5.7	13.5	5.5	1.8	3.2	10.0	6.1	5.1	2.0	1.1	1.3	0.7	9.9	1.7
	合計	42.4	29.6	35.9	13.3	4.3	9.4	31.4	16.6	14.3	7.7	2.7	3.3	2.4	40.6	6.3
酪農(北海道)	第1方針	21.0	14.8	6.2	3.3	1.0	1.3	9.5	4.3	3.6	0.3	0.0	0.7	2.3	27.2	4.6
	第2方針	15.7	4.3	14.8	8.2	1.0	1.6	12.5	2.6	6.2	2.3	0.0	1.0	1.3	9.8	3.9
	第3方針	7.9	3.9	13.8	5.2	2.0	2.3	10.8	3.9	6.6	0.7	0.0	2.3	1.0	13.1	1.3
	合計	44.6	23.0	34.8	16.7	3.9	5.2	32.8	10.8	16.4	3.3	0.0	3.9	4.6	50.2	9.8
酪農(都府県)	第1方針	15.9	15.9	6.1	2.3	0.3	2.6	13.9	5.2	4.9	1.0	0.0	0.0	0.3	29.1	2.6
	第2方針	15.5	5.5	12.6	6.1	1.3	1.6	11.7	6.5	5.8	1.0	0.3	0.6	0.3	12.3	1.3
	第3方針	5.2	7.4	9.7	6.1	1.3	2.9	9.7	5.8	5.8	0.6	0.3	0.3	0.3	8.4	1.9
	合計	36.6	28.8	28.5	14.6	2.9	7.1	35.3	17.5	16.5	2.6	0.6	1.0	1.0	49.8	5.8
肉用牛	第1方針	16.2	21.9	5.4	1.9	1.9	2.0	12.1	5.2	3.2	3.3	1.1	0.9	0.7	20.3	3.9
	第2方針	14.9	7.4	12.3	5.4	1.3	2.4	11.5	6.5	7.1	4.1	2.0	0.7	0.2	8.4	1.5
	第3方針	5.9	5.0	13.8	4.8	2.0	3.3	9.9	6.1	4.6	2.4	1.7	0.4	0.7	11.5	1.9
	合計	37.0	34.4	31.4	12.1	5.2	7.8	33.5	17.8	14.9	9.9	4.8	2.0	1.7	40.1	7.2
養豚	第1方針	22.1	20.4	9.8	2.1	2.1	3.4	7.7	3.4	4.3	2.6	0.4	2.6	1.3	16.2	1.7
	第2方針	24.7	6.4	16.2	6.4	0.9	3.8	8.1	4.7	3.4	5.1	0.4	1.7	0.4	5.5	0.9
	第3方針	6.4	6.8	16.6	6.0	3.0	1.7	11.9	5.1	4.3	2.1	0.4	3.8	0.4	8.1	1.7
	合計	53.2	33.6	42.6	14.5	6.0	8.9	27.7	13.2	11.9	9.8	1.3	8.1	2.1	29.8	4.3
採卵鶏	第1方針	28.5	10.6	9.8	1.6	0.8	10.6	6.5	4.1	0.0	6.5	2.4	0.8	4.1	13.8	0.0
	第2方針	8.9	4.9	21.1	3.3	0.0	11.4	8.9	8.9	2.4	6.5	2.4	4.1	0.8	4.9	1.6
	第3方針	12.2	6.5	10.6	3.3	0.0	6.5	8.9	8.9	6.5	6.5	4.1	2.4	0.8	5.7	0.0
	合計	49.6	22.0	41.5	8.1	0.8	28.5	24.4	22.0	8.9	19.5	8.9	7.3	5.7	24.4	1.6
ブロイラー	第1方針	22.3	16.0	12.8	2.1	1.1	0.0	6.4	6.4	2.1	1.1	0.0	0.0	1.1	27.7	1.1
	第2方針	23.4	3.2	13.8	3.2	1.1	3.2	10.6	6.4	4.3	1.1	0.0	0.0	0.0	11.7	0.0
	第3方針	6.4	1.1	11.7	9.6	0.0	2.1	8.5	16.0	1.1	1.1	2.1	0.0	1.1	7.4	2.1
	合計	52.1	20.2	38.3	14.9	2.1	5.3	25.5	28.7	7.4	3.2	2.1	0.0	2.1	46.8	3.2